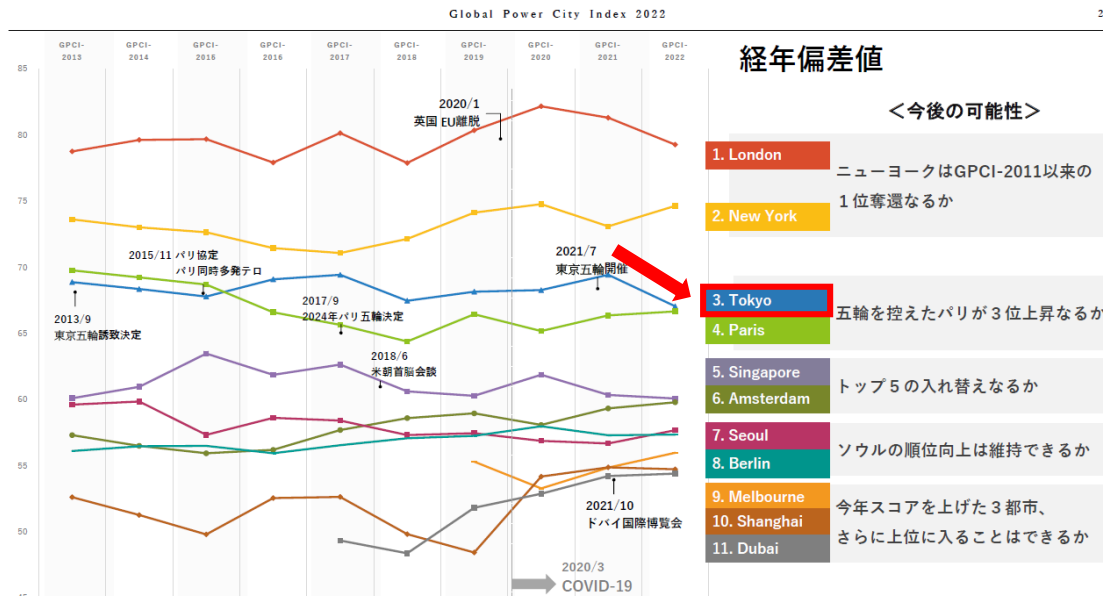


首都・東京の国際競争力向上に向けた 都市政策等に関する要望について

～持続的かつ魅力あるまちを目指して～

2023年7月13日
首都圏問題委員会



Environment



環境

1	Stockholm	238.2
2	Copenhagen	234.8
3	Helsinki	208.8
4	Sydney	206.9
5	Vienna	204.7
6	Zurich	202.3
7	Melbourne	201.6
8	Vancouver	198.7
9	Berlin	195.2
10	Geneva	194.9
11	London	192.9
12	Singapore	182.7
13	Tokyo	181.0

②課題：弱みの克服

世界都市ランキングの6つの分野別評価順位において、東京は環境分野が一番低い状況である。CO2排出抑制など、GXに向けた取り組みが、これまで以上に求められている。

出典：森記念財団都市研究所「世界都市ランキング」より

①現状認識

東京は、森記念財団の世界都市ランキングでロンドン、ニューヨークに次ぐ第3位を維持したが、第4位のパリとの評価は僅差。今後五輪を控えたパリに3位の座を奪われる可能性がある。



出典：ZEROTOKYO HPより



出典：松竹 HPより

③課題：強みを活かす

サステナブルなまちづくりのためには、東京が持っている「文化の力」を活かすことが必要。文化と事業を組み合わせることで、新たな付加価値を生み出し、東京の都市力を更に強化することが重要である。

要望内容

【重点要望】

1. まちづくりにおけるGX(グリーントランスフォーメーション)の推進

- (1) 官民を挙げたGXの取組み強化
- (2) 社会インフラを利用した再エネ設備等の整備促進

2. まちの魅力向上 ～国際文化都市東京に向けて～

- (1) 街なみ・景観整備
- (2) 文化・エンタメ活動の促進
- (3) 公開空地等の利活用の推進
- (4) ウォーカブルなまちの整備

3. インフラを支える建設業・運送業の2024年問題への対応

【継続要望】

- 1. まちづくりのためのデジタル技術活用
- 2. 東京ベイエリアを世界のショーケースに
- 3. インフラ整備等の迅速かつ着実な推進
- 4. 施策のスピードアップに向けた環境整備

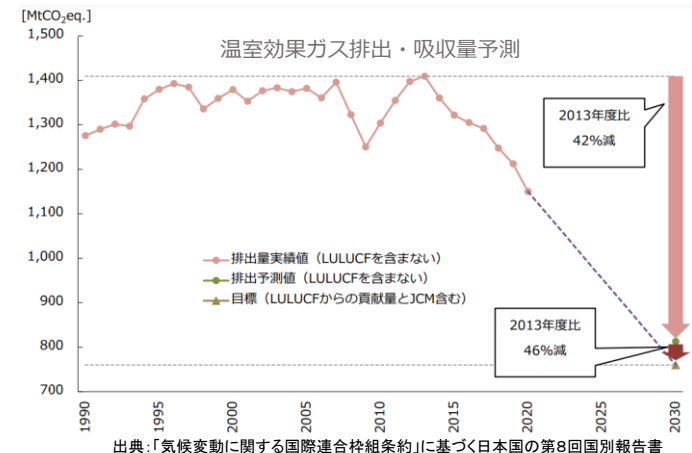
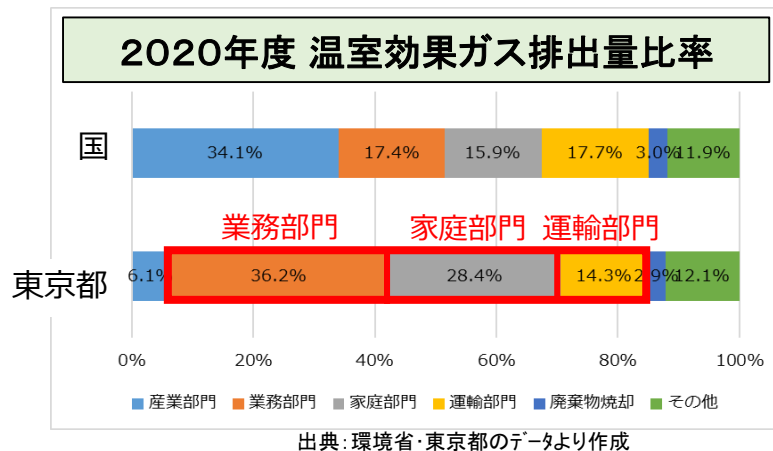
温室効果ガス排出量と削減目標達成のための課題

東京都の温室効果ガス排出量

業務部門(事務所・飲食店等) 約36%
家庭部門 約28%
運輸部門(自動車、鉄道等) 約14%

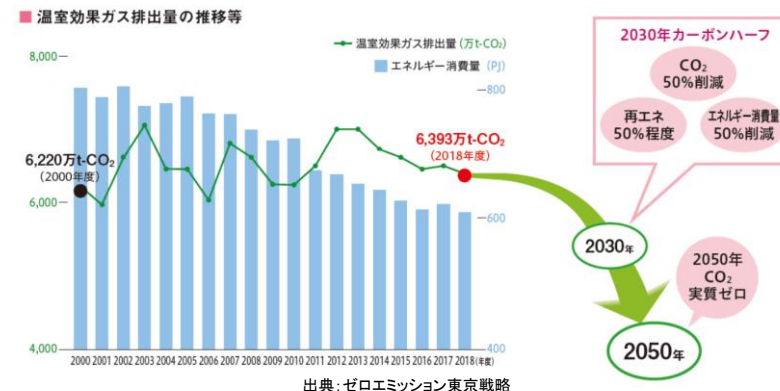
2030年まで削減目標(全部門を含む)
△50%(都) △46%(国)

☆業務・家庭・運輸部門の3部門の温室効果ガス排出抑制による効果大きい。



温室効果ガス排出抑制策

- ①事務所・飲食店等の業務系ビル (業務部門)
⇒ ZEB(net Zero Energy Building)
- ②住宅(家庭部門)
⇒ ZEH(net Zero Energy House)
- ③自動車(運輸部門の排出ガスの約8割は自動車)
⇒ EV車、FCV車(燃料電池車)



(1) 官民を挙げたGXの取組み強化

①業務・家庭部門のGX

◆既存ストック(既存建物)の脱炭素化の強力な推進

- ・断熱改修をはじめ、エネルギーマネジメントシステム整備等の政策の総動員を
- ・キャップ&トレード制度及び地球温暖化対策報告書制度の強化にあたっては、事業者の理解を得るための取組みを

◆ZEB・ZEHの普及促進

- ・ZEB・ZEH建築のメリットの周知啓発と補助金の新設・拡充、ZEH補助金申請の簡素化
- ・ZEB・ZEHへの入居促進

◆多様な再生可能エネルギー対策の推進

- ・太陽光パネルが適さない建物(短時間の日照、狭小住宅等)に対する代替案の整備
(例:再エネ設備等によるオフサイト電源や蓄電池導入への支援
公共施設・所有者不明土地等への再エネ設備設置促進 等)

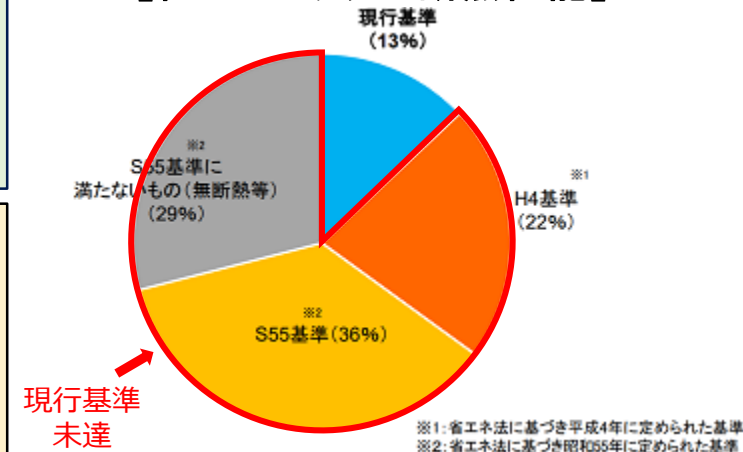
<キャップ&トレード制度(都)> (2025年度より制度強化)

都内の**大規模事業所**(原油換算エネルギー使用量**1,500kl以上**)に対して、前年度のCO2排出量、温暖化対策実施状況などの報告および**排出量削減の義務を課す制度**。新たな削減率の設定や再エネ利用を更に進める仕組み等を導入予定。

<地球温暖化対策報告書制度(都)> (2025年度より制度強化)

都内の**中小規模事業所**(原油換算エネルギー使用量**1,500kl未満**)に対して、前年度の**CO2排出量、温暖化対策実施状況等の報告を求め**る制度。都が2030年に向けて省エネ・再エネに関する達成目標水準を提示し、事業者は目標達成のための計画を作成し、達成状況を報告・公表。都は優良事業者の評価制度を拡充予定。

【住宅ストックの断熱性能】



重点要望 1.まちづくりにおけるGXの推進

(1) 官民を挙げたGXの取組み強化

②運輸部門のGX

- ◆EV車・FCV車(燃料電池自動車)普及のためEV充電設備整備、水素ステーションの整備促進
 - ・EV充電設備整備に対する支援の拡充
 - ・EV充電設備整備による駐車場附置義務台数の緩和
 - ・民間商用車(バス・トラック等)の利用が可能な水素ステーションの設置推進
 - ・高速道路サービスエリア・空港・港湾等への水素ステーションの設置推進
- ◆EV車・FCV車等の早期実装化・普及促進(車両導入費の支援等)
- ◆SAF※等のバイオマス燃料、合成燃料等の燃料政策の推進(航空機、既存車両等のGX)



EV充電設備
出典:江東区HP

※SAF(Sustainable Aviation Fuel、持続可能な航空機燃料)
とは、バイオマス原料から精製される航空機燃料。



水素ステーション
出典:岩谷産業HP

(2) 社会インフラを利用した再エネ設備等の整備促進

- ◆港湾・空港・道路等のインフラ施設におけるカーボンニュートラルのさらなる推進
- ◆洋上等の風力発電の導入促進
- ◆公共空間等を利用した再エネ設備の設置
 - ・定置型燃料電池の設置支援、再エネの地産地消に取り組む事業者に対する支援 等
- ◆グリーンインフラ整備、生物多様性の保全、エネルギー効率的利用に向けたまちづくり



出典:国土交通省資料



千葉県銚子沖の洋上風力発電
出典:資源エネルギー庁HP



空港での脱炭素化の取り組みイメージ
出典:国土交通省資料

Environment 環境	Commitment to Climate Action / 環境への取り組み	10
	Renewable Energy Rate / 再生可能エネルギー比率	36
	Waste Recycle Rate / リサイクル率	25
	CO ₂ Emissions per Capita / 1人あたりのCO ₂ 排出量の少なさ	6
	Air Quality / 空気のきれいさ	9
	Comfort Level of Temperature / 気温の快適性	13
	Water Quality / 水質の良好性	19
	Urban Greenery / 緑地の充実度	41
	Satisfaction with Urban Cleanliness / 都市空間の清潔さ	4

世界都市ランキング「環境分野」における東京の順位
出典:森記念財団「世界の都市総合力ランキングYEARBOOK2022」

サステナブルなまちづくりのためには、東京が持っている
「文化の力」という強みを活かすことが重要

文化と事業を組み合わせることで、まちに新たな付加価値を生み出す

東京の「文化の力」を向上させていくためには、様々な課題があると考えるが、本要望では、まず各地で取組が進んでいる歴史まちづくり法等の活用と、企業の関心の高いナイトタイムエコノミーをはじめとした文化・エンタメ活性化等について申し述べる。

＜東京の歴史文化を掘り起こす＞

現在91都市で計画認定されている歴史まちづくり法の活用や、歴史を活かしたまちづくり支援制度の拡充等により、東京でも積極的に歴史文化を掘り起こす取組が必要である。



出典：清水観音堂 寛永寺HP

＜東京の文化エンタメを活性化＞

森記念財団の世界都市ランキングにおいて、東京は「文化・交流」分野で、ロンドン（総合ランキング1位）やニューヨーク（総合ランキング2位）と比べて差を付けられており、特にナイトタイムエコノミーの活性化や文化・エンタメ施設の整備等が課題となっている。



出典：ZERO TOKYO HP



出典：レッツエンジョイ東京

国際文化都市東京の実現により、東京の都市力が向上

(1)街なみ・景観整備

◆「歴史まちづくり法」※の活用等、東京の歴史的資産を再評価し、歴史文化区域を形成するまちづくりの強力な後押しを ※歴史まちづくり法の所管官庁：国土交通省・文化庁・農林水産省

- ・東京における歴史まちづくり法の活用や、歴史を活かしたまちづくり支援制度の拡充
- ・都内に点在する歴史的建造物を活用した文化区域の形成
(都内の85件の重要文化財、97件の東京都選定歴史的建造物(2023年3月現在)等を活用したまちづくり)



出典：池上本門寺HP



出典：浅草神社HP



東京都選定歴史的建造物
「伊勢丹本店本館」

【参考】歴史まちづくり法および横浜市の取組み

①歴史まちづくり法

正式名称：「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」

「歴史的風致」とは、「地域におけるその固有の歴史および伝統を反映した人々の活動と、その活動が行われる歴史上価値の高い建造物およびその周辺の市街地とが一体となって形成してきた良好な市街地の環境」と定義（第1条）

ハード（建造物・市街地）＋ソフト（人々の活動、祭りや工芸品販売）＝市街地の環境

＜同法を活用したインバウンドの誘客例＞

②横浜市・歴史を生かしたまちづくり要綱

＜認定歴史的建造物＞100件（2023年3月現在）

登録歴史的建造物のうち、より重要な景観上の価値があると認められ、所有者の同意が得られた場合には、「保全活用計画」を定めて認定

＜助成制度の内容（横浜市と東京都の比較）＞

横浜市（認定歴史的建造物に係る助成）

外観保全に要する経費の「3分の2以内」かつ「6,000万円以内」等
東京都（東京都選定歴史的建造物に係る助成）

保全工事に要する経費の「2分の1以内」かつ「400万円以内」等



(2)文化・エンタメ活動の促進

◆エンターテインメント及びナイトタイムエコノミーの活性化

- ・多種多様なナイトタイムコンテンツの拡充(旅行消費額の向上)
- ・美術館、庭園等の閉館・閉園時刻の延長

◆地域の魅力となっている多様な文化の発信

- ・芸術や音楽、歴史、サブカルチャー(漫画、アニメ等)、食といった文化の発信強化 等

◆文化施設の拡充、施設運営の支援

- ・施設運営費用の助成、税制優遇等

Function 分野	Indicator Group 指標グループ	Indicator 指標	Rank 順位
Cultural Interaction 文化・交流	Trendsetting Potential 発信力	Number of International Conferences / 国際コンベンション件数	4
		Number of Cultural Events / 文化イベント開催件数	1
		Cultural Content Export Value / コンテンツ輸出額	20
		Art Market Environment / アート市場環境	7
	Tourism Resources 観光資源	Tourist Attractions / 観光地の充実度	13
		Proximity to World Heritage Sites / 世界遺産への近接性	19
		Nightlife Options / ナイトライフ充実度	27
	Cultural Facilities 文化施設	Number of Theaters / 劇場・コンサートホール数	5
		Number of Museums / 美術館・博物館数	7
		Number of Stadiums / スタジアム数	6
	Visitor Amenities 受入環境	Number of Hotel Rooms / ホテル客室数	1
		Number of Luxury Hotel Rooms / ハイクラスホテル客室数	20
		Attractiveness of Shopping Options / 買物の魅力	1
		Attractiveness of Dining Options / 食事の魅力	1
	International Interaction 外国人受入実績	Number of Foreign Residents / 外国人居住者数	16
		Number of Foreign Visitors / 外国人訪問者数	20

東京の強み

- ・文化イベント 開催件数
- ・ホテル客室数
- ・買物の魅力
- ・食事の魅力

東京の弱み

- ・ナイトライフ充実度
- ・外国人訪問者数
- ・ハイクラスホテル客室数
- ・コンテンツ輸出額

(3)公開空地等の利活用の推進

- ◆公開空地の面積要件の緩和(東京都におけるまちづくり団体登録制度の要件緩和)
 - ・「複数の公開空地の合算面積で1,000㎡」に緩和を
- ◆有料の公益的イベントの日数制限(180日)の緩和
- ◆区市町村以外の事業者(NPO法人・一般社団法人・株式会社等)についても自転車等のシェアリング事業実施を可能に
- ◆自転車以外のシェアリングモビリティ置き場として活用を
(電動キックボード、電動車いす、マイクロモビリティ等)
- ◆商業的広告物の規制緩和
 - ・商業的広告の設置を可能にし、収益をまちづくり団体の活動へ活用
- ◆公開空地・公園・道路の一体利用の推進
(申請窓口の一本化、デジタル化による利用申請・承認の迅速化等)



公開空地のイメージ(出典:OpenA HP)

物品販売イベントによる公開空地の利用
(出典:東京都資料)シェアリングモビリティ置き場
(出典:みなとみらい21HP)

(4)ウォーカブルなまちの整備

◆歩行者にとって安全・安心なまちづくりを

- ・パーソナルモビリティ(自転車、キックボード等)走行帯の整備
- ・歩行者とパーソナルモビリティが快適に共存できるモデルエリアの設置

◆賑わいの創出

- ・歩行者利便増進道路(ほこみち)のさらなる普及(指定箇所の拡充・面的推進等)
- ・ウォーカブルな水辺の創出(スーパー堤防を活用した賑わい形成等)

◆グリーンスローモビリティ※の活用・導入支援

※時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスを提供するモビリティ

◆共同荷捌き施設の整備等

◆公園・緑道の整備推進



自転車走行帯(出典:文京区HP)



ほこみちのイメージ
(出典:ほこみちプロジェクトHP)



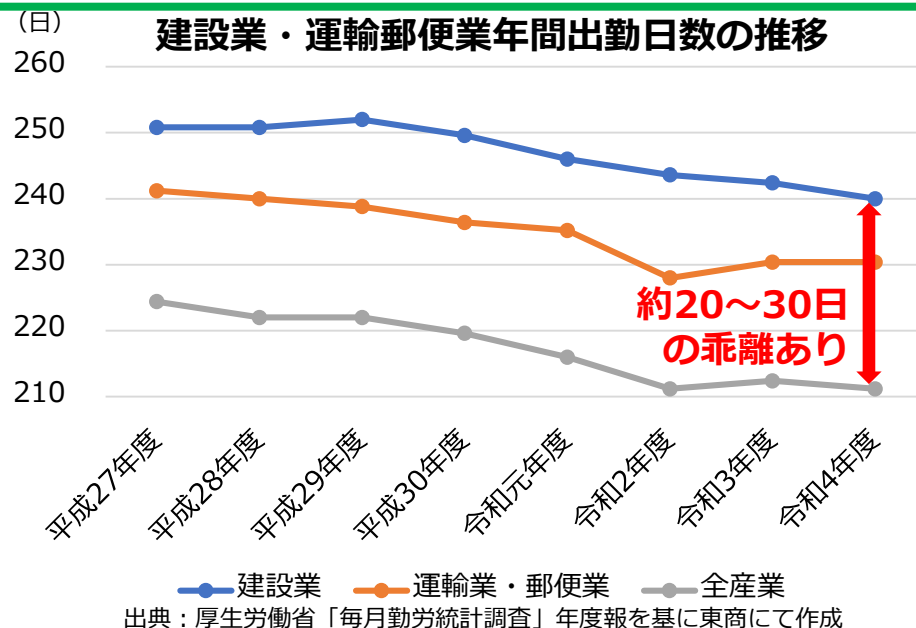
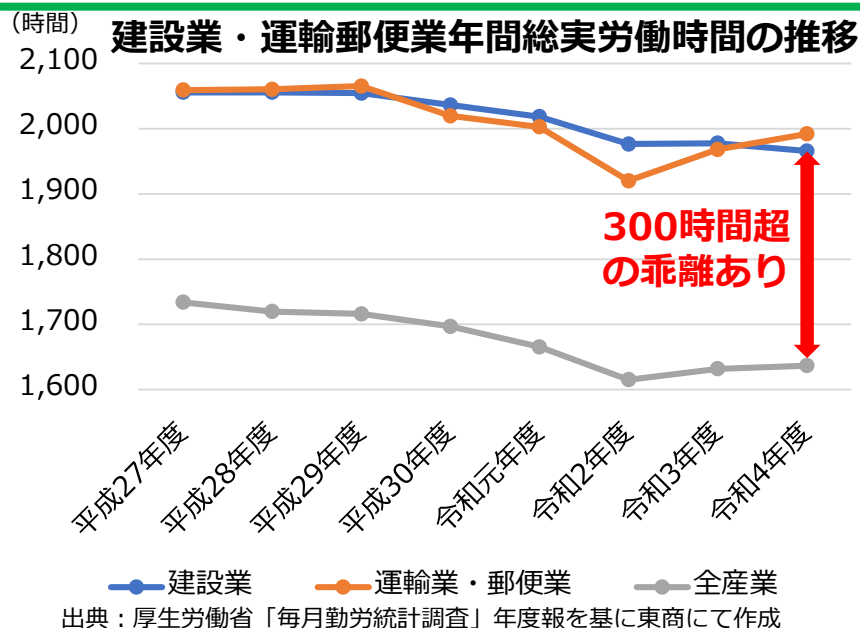
グリーンスローモビリティの導入実験(出典:国土交通省資料)



スーパー堤防・高規格堤防と連携した拠点形成

重点要望 3. インフラを支える建設業・運送業の 2024年問題への対応

- ◆長時間労働の是正(時間外労働の上限規制への対応)
 - 〈建設業〉・区市町村の適正工期設定を促す取組みの推進
 - ・工事書類の削減・簡略化
 - 〈運送業〉・物流効率化に資する設備等の導入に対する助成金や税制措置
 - ・制度の見直し(速度制限、道路交通規制の見直し、駐車禁止除外指定の適用等)
 - ・商習慣の改善(荷待ち・荷役作業時間の削減、納品期限・取引価格の見直し等)
- ◆人材確保・育成の推進
 - ・適正取引の推進による従業員に対する適正な賃金の還元
 - ・人材育成のための支援
(建設キャリアアップシステムの推進、フォークリフトの免許取得に対する支援等)
 - ・企業等の実態を踏まえた副業・兼業の推進施策の検討
 - ・建設業における外国人労働者の雇用促進(長期雇用環境の整備)



【継続要望】

1. まちづくりのためのデジタル技術活用

- (1) 行政のDX推進
- (2) スマートシティの早期実現

2. 東京ベイエリアを世界のショーケースに (東京ベイエリアをGX・DX等の課題を解決するモデル都市に)

3. インフラ整備等の迅速かつ着実な推進

- (1) 都市の基盤・・・安全・安心、強靱化（レジリエンスの確保）、持続的な成長
 - ①土地利用や都市計画の柔軟な運用によるレジリエンス強化
 - ②民間活力による都市再生の推進
 - ③インフラ老朽化対策の推進（高速道路・橋梁・トンネル等）
 - ④老朽マンションの建替え等の促進
 - ⑤木密地域等密集市街地の早期改善、無電柱化の推進
 - ⑥災害に備えたインフラ整備・まちづくりの推進
 - ⑦気候変動に適応したまちづくりへの転換
 - ⑧都市衛生環境整備の促進
 - ⑨空き家・空き地対策の推進

【継続要望】

(2) 各地域との直結…魅力をつなげるネットワークの充実・連携

- ①首都圏三環状道路の整備（外環道・圏央道）
- ②都心と首都圏空港間等のアクセス改善をはじめとした鉄道交通網の強化
- ③コンテナふ頭・クルーズ客船ふ頭等の港湾施設の機能強化
（コンテナ船等の大型化の進展、貨物量の増加、コンテナの長期待機・港湾エリアの交通混雑等への対応等）
- ④首都圏空港処理能力強化・就航都市数増加・効率的な空域利用の促進
- ⑤首都圏の高速道路、国道等の交通円滑化
- ⑥物流分野の生産性向上の加速及び関連施設の整備
- ⑦シームレスな移動環境の充実（MaaSの社会実装に向けたスピードアップ）
- ⑧リニア中央新幹線を契機とした日本中央回廊の形成
- ⑨インフラのストック効果の見える化・見せる化

(3) 都市の多種多様な魅力

- ・楽しさやオープンな交流の創出に向けた公共空間の利活用

4. 施策のスピードアップに向けた環境整備

- (1) 公益性・合理性を実現する土地収用手続き等の積極的活用
- (2) 官民連携による用地取得業務の加速
- (3) 用地取得における不公平感の解消
- (4) 地籍調査の早期の進捗率向上

挑みつづける、変わらぬ意志で。

